

第51回熊本県教員蹴友会会長旗争奪KFA熊本県中学校U-14サッカー選手権大会  
競技規則および申し合わせ事項についての共通理解

2022.12.3(土)

(一社)熊本県サッカー協会3種委員会 審判部

1. 日本サッカー協会制定の「2021/2022 サッカー競技規則」および本大会要項を適用する。  
※「意図的なプレー」と「ディフレクション」との違いに関するガイドラインの明確化について、JFAから通達が来ています。詳細は、以下のリンクを参照して下さい。

- [https://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law\\_soccer\\_220134.pdf](https://www.jfa.jp/documents/pdf/soccer/law_soccer_220134.pdf) (通達文)
- <https://youtu.be/bAMugM1gqyY> (動画による解説)

【選手の用具】

2. 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。合同チームにおいて、用意が難しいチームにおいては、以下のように対応すること。

- (1) 本競技会に登録した1色以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2色以上の持参が好ましい。)
- (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ピブス等も可)。
- (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがピブス等を着用することを決定する。
- (5) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (6) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

3. 正・副の2色については明確に異なる色とする。
4. 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
5. ユニフォームは、1～99までの番号を準備すること。選手の背番号は、大会を通じて選手固有のものとする。ショーツに番号が付いている場合は、シャツと同じ番号とする。
6. チームの事情によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、フィールドプレーヤーのときと同じ番号のゴールキーパーユニフォームで出場すること。PKのときも同様である。
7. 負傷によりフィールドプレーヤーがゴールキーパーを務める場合は、自チームのキーパーシャツを借りてプレーすることを認める。
8. ユニフォームの番号を貼り付ける場合、布地や番号の色は元の色と同じ色にすること。

【審判員】

9. 準々決勝までは、帯同審判員で行う。
10. 各チーム2名の帯同審判員(有資格者)は、試合当日に会場にて審判証を提示すること。(スマートフォンの画面でも可)
11. 1～3回戦までは、中学生の4級審判員が副審・第四審を務めてもよい。中学生に限り、審判着が用意できない場合はユニフォームと区別がつく服装での審判を認める。例) 黒色ピブスの着用
12. 4回戦以降において、各チーム2名の帯同審判員うち1名は、3級以上の審判員とする。

【試合時間】

13. 試合開始5分前に本部前に集まること。
14. 延長戦前は3分間、PK戦前は1分間のインターバルをとる。延長戦のハーフタイムのインターバルでは、1分間の水分補給時間を取ってもよい。

【その他】

15. 競技中に交代要員がウォーミングアップを行う場合は、ベンチの後方または脇とし、競技中の選手と異色の服装(ピブス等)で、ボールを使用せずに行う。また、ウォーミングアップをしていないときは、ベンチに座らせる。
16. 審判員や他チームの批判・中傷を報道関係者にしたり、インターネット掲示板に書き込んだりしないように、自チームの選手・応援者に周知をお願いします。